

令和４年度 浜松市立気賀小学校 学校評価報告書

1 自己評価

- ・別紙の通り

2 学校関係者評価

2月3日（金）に開催した学校関係者評価委員会（学校運営協議会）において、自己評価結果及びアンケート結果の考察・改善について委員に報告した。報告に対して以下の意見があった。

- ・気賀小学校は、昔から地域に開かれている学校なので、地域も保護者も協力的である。
- ・子供たちの様子（挨拶）を見ていると、低学年の頑張りと高学年の姿の変容が見られ、嬉しく感じる。学校関係者評価の①～⑥の項目については、子供たちの中に、気賀小のシステム（大切にしていかなければならないこと）が入っていると感じる。
- ・いろいろな項目があるが、90％達成であっても、残りの10％の子供たちに声を掛けていきたい。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、大きく以下の点について改善を図りたい。

- 「気賀小挨拶日本一」を目指して挨拶運動の取り組みを進めているが、児童の達成度に対して、保護者と教員の評価が低い点について改善を図る。
- 「家庭や地域の連携」について、保護者に十分に伝わっていない点について改善を図る。
- 約10％の子供たちも含めて充実した学校生活を過ごすことができるように改善を図る。

- ・挨拶や家庭や地域の連携に関する評価結果向上のために、これまで以上に地域や家庭に情報発信をしていく必要がある。そのためにHPやブログ、各種たよりを充実させ、積極的に情報発信をしていきたい。
- ・CS（気賀っ子応援団）への積極的参加を今後も呼び掛けることにより、家庭や地域の連携をより充実させていきたい。
- ・子供たちが充実した学校生活を過ごすことができるように、学級経営の充実、個に寄り添う教師の姿勢、心のアンケートや個別面談等の取り組みを充実させていきたい。